

新花巻図書館建設候補地と宮沢賢治の関わりについて

作成 宮沢賢治記念館

花巻市内には「宮沢賢治ゆかりの地」が数多くあり、新花巻図書館建設候補地とされている「花巻病院跡地」、「花巻駅前」もそれらの中の一つです。この二つの場所が、賢治とどのような関連があるのかを次に記しました。

☆花巻病院跡地

ここは賢治が教師となった稗貫農学校のあった場所です。大正10（1921）年開校で賢治はこの年の12月に着任し、校舎が現在の花巻市文化会館に移転されるまでの一年4ヵ月間、ここで教鞭をとりました。賢治は移転後も含めた約4年間の教師時代について「わたくしにとってじつに愉快的明るいもの」と後に記しています（「春と修羅 第二集」）。賢治にとっておそらく一番輝いていた時代の一步を踏みだした場所といえます。

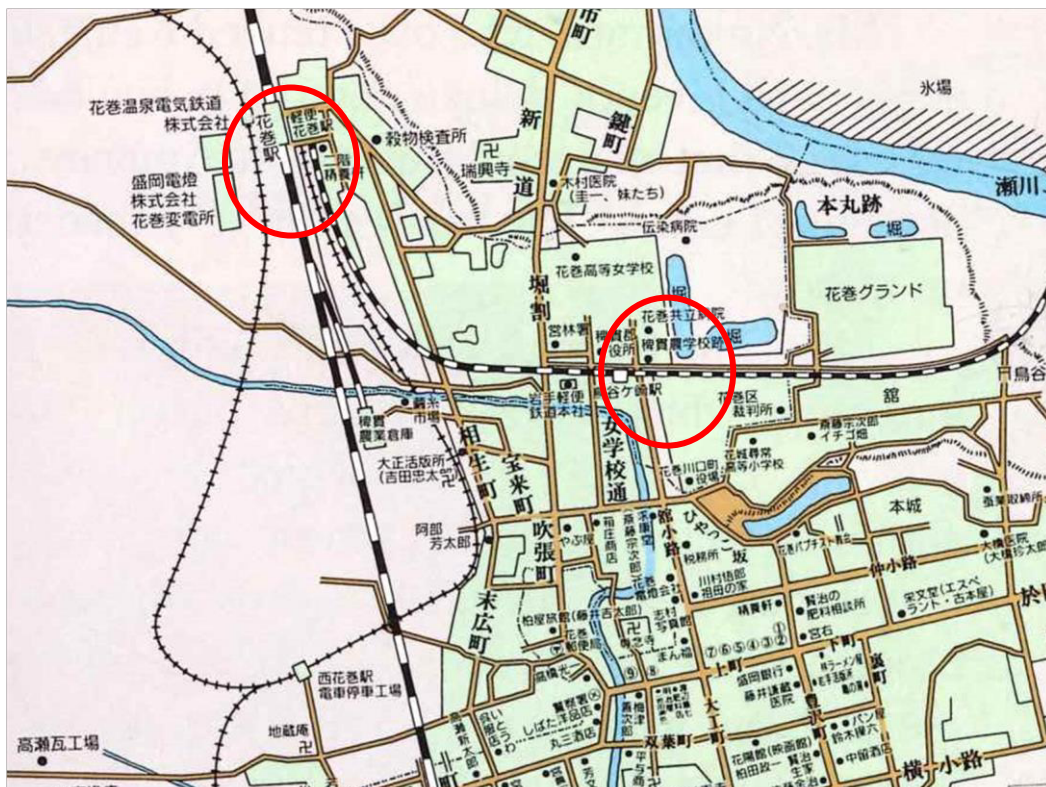
ちなみに隣接する高等女学校（現在の生涯学園都市会館）はかつて妹トシが勤務したことでも知られています。

☆花巻駅前

ここは「銀河鉄道の夜」のモデルとされる「岩手軽便鉄道」の駅跡地でもあります。

また東北本線と岩手軽便鉄道の信号機の恋物語を描いた童話「シグナルとシグナレス」の舞台でもあります。

岩手軽便鉄道株式会社は明治44（1911）年に設立され、花巻～仙人峠が開通したのは大正4（1915）年で、現在のホテル西側からなはんプラザの辺りが駅構内だったとされています。宮沢賢治は新しい駅や路線ができるとすぐに乗車を試みる「鉄道好き」としても知られており、花巻駅は数えきれないほど訪れていた場所といえます。



大正期の花巻地図

花巻病院跡（稗貫農学校）と花巻駅前（岩手軽便鉄道駅跡）